第39回 福岡県学童保育研究集会

92335







~共に歩むあなたが 大切にしたいこと~

オンライン (Z O O M) 開催

日時

2022年2月20日(日)

10:30~16:30 (9:00より受付開始)



申込み 方法

- ・QRコードを読み込んで申し込みフォームへご記入下さい。
- ・複数人でお申込みの場合でも一人ずつ改行して全員分のお名前を記入して頂けます。
- ・QRコードの操作がわからない方は、福岡県連までメールにて ご連絡下さい。申込みフォームのリンクをご案内します。
- ・地域や指導員会で取りまとめて申込みの場合はご相談下さい。
- ・申込みが完了しましたら、参加費を下記振込先に送金して下さい
- ・分科会は先着順ですので、ご希望に添えない事があります。
- ・お申込と送金の確認が取れた方には、1月14日以降に当日の詳細や練習会、資料についてなどを、メールにてご連絡いたします。



参加費

お一人につき

会員:2000円 会員外:2500円

申込み 締切り 1月14日(金)
1月15日~のキャンセルについては返金出来ません

振込先

ゆうちょにてお振込

【名義】福岡県学童保育連絡協議会 【郵便振替口座番号】01730-2-132265 【店番号】748【店名】七四八 【口座番号】3427386

送金完了後、送金結果がわかるものに、氏名・施設名を記入して福岡県連へFAXして下さい。

他銀行からのお振込

お問合われまり

主催団体:福岡県学童保育連絡協議会

1 093-662-6000 住所:〒805-0067 北九州市八幡東区祇園2-4-22

093-662-6006 E mail: gakuhoren@fukuoka-gkd.jp

後 援 福岡県・福岡市教育委員会・北九州市・久留米市・朝倉市・飯塚市・糸島市・うきは市・大川市・大野城市・大牟田市 小郡市・春日市・嘉麻市・古賀市教育委員会・田川市教育委員会・太宰府市・筑紫野市教育委員会・那珂川市・中間市 直方市・福津市・みやま市・宮若市・宗像市・柳川市・八女市・芦屋町・宇美町教育委員会・大木町・岡垣町・遠賀町 粕屋町教育委員会・香春町・桂川町・小竹町・志免町・篠栗町教育委員会・添田町・大刀洗町・広川町・みやこ町・赤村 日 程

受付 開会行事 特別報告 記念講演 昼食 分科会

16:30

◆記念講演 10:30 ~ 12:00 (9:00入室開始 10分前には入室を完了してください)



講師:増山均

『子どもの時代を豊かにする学童保育』

☆講師プロフィール☆

●1948年、栃木県宇都宮市生まれ。日本福祉大学社会福祉学部教授、早稲田大学文学学術員教授を経て、現在早稲田大学名誉教授。専門は、社会教育学、社会福祉学。子育て問題、教育・福祉問題、子どもの人権と文化問題など、総合的視点から「子ども研究」を進めている。日本学童保育学会代表理事、子どもの権利条約市民NGOの会共同代表、日本子どもを守る会会長。

著書は『アニマシオンが子どもを育てる』(旬報社)、『余暇・遊び・文化の権利と子どもの自由世界』(青踏社)、『うばわないで!子ども時代』(共編著/新日本出版社)、『静かだったら学校と同じじゃん』(共著/新日本出版社)、『子どもの放課後と学童保育』(新日本出版社)、『ファンタジーとアニマシオン』(共編著/童心社)、『子どもの尊さと子ども期の保障』(新日本出版社)、『鈴木道太研究』(共著/明誠書林)など多数。

◆分科会 14:00 ~ 16:30 (13:15 入室開始 10分前には入室を完了してください)

	テーマ	学習・交流のねらい	
1	学童保育が保護 者にとってるよう 場所になるよう に〜保護者と関 援員との信頼関 係〜	この2年間、新型コロナウイルス感染防止に伴う自粛で子どもも、保護者も我慢ばかりで、人とのつながりが断たれました。子育てで、悩みがあっても相談出来ず、支援員も行政指示への対応、感染防止対策に追われ、保護者と、子どもの様子すら話もできない状態でした。コミュニケーションの取れない状況、それは子育てにも大きな影響を与え、様々な問題が起きています。だからこそ学童は、保護者と支援員や保護者同士が、つながり合い安心の居場所であることが大切です。学童がそのような場所になるために考えてみましょう。	飛鳥井祐貴 (神奈川・ 放課後児童 支援員)
2	学童保育の運営を考える	2015年からスタートした子ども子育て支援法によって学童保育は、大きく変わりつつあります。国から示された「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準」や「放課後児童クラブ運営指針」は、学童保育の拡充を進める大きな一歩となりました。一方、福祉分野などの公的な事業へ民間企業参入が促進され、学童保育も例外ではありません。そこで、学童保育のあり方や役割を今一度考えることが重要になっています。各地の実態を交流し、学童保育の実施主体である市町村行政の役割や学童保育の運営主体の役割やあり方を考え合います。	森元茂利 (県連事務局 長)
3	子どもの事を話 そう〜子どもも 大人も困ってる んです〜	日々の保育で、気になる子どもの姿をどのようにとらえていますか?「困った子にどう接したらいいの?」「おとなしくさせるだけの声かけだけでいいの?」等々、一人の困っている子の事例をもとに、支援員がどのように関わることが出来るかを、皆で語り合いながら見つけていきませんか?きっと子どもを見る目が変わりますよ!ブレイクアウトルームを活用します。 (定員75名)	福岡ブロック運営委員会
4	子どもにとって の「遊び」再考	そもそも、子どもにとって遊びとは、どのような意味をもつのでしょうか。発達の視点から遊びを考えてみたり、遊びと労働を対比させながら考えてみたり、あるいはアフォーダンスの理論を元に考えてみたりと、多様な視点から子どもにとっての「遊び」の本質に迫ります。そんな子どもの遊びに身近な私たち大人には、何ができるのでしょうか。子ども主体の遊びを止めることなく、豊かに育んでいくためのコツを、みなさんとともに遊び心をもって考えていきたいと思います。この分科会を終えたとき、「早く子どもたちと遊びたい!」と思ってもらえたなら幸いです。	山下智也 (北九州市立 大学准教授)
5	子どものあそび の"処方箋"	「遊びは子どもの主食です」ご飯が乏しく栄養が足りないと栄養失調で様々な症状が出てしまうように、私たちが子どもたちを見て問題だと捉えてしまう様々なことは、あそびが乏しく、あそびが足りないからかもしれません。今回はそんな子どもたちへ、どのようなあそびを保障することで子どもの身体も心も満腹(満足)にしていくのか、その処方箋を考え合ってみましょう。	鍋倉 功 (放課後児童 支援員・保 育士)